



2017年8月29日

三井情報株式会社

MKI、ルーターやエッジコンピューティング（AI制御）等の機能をワンボックス化した、「MKI Intelligent Gateway」を含む「MKI IoT基盤」を提供開始

ークラウド型省エネルギーマネジメントサービス「GeM2」を
Microsoft Azure を活用した「MKI IoT基盤」に移行ー

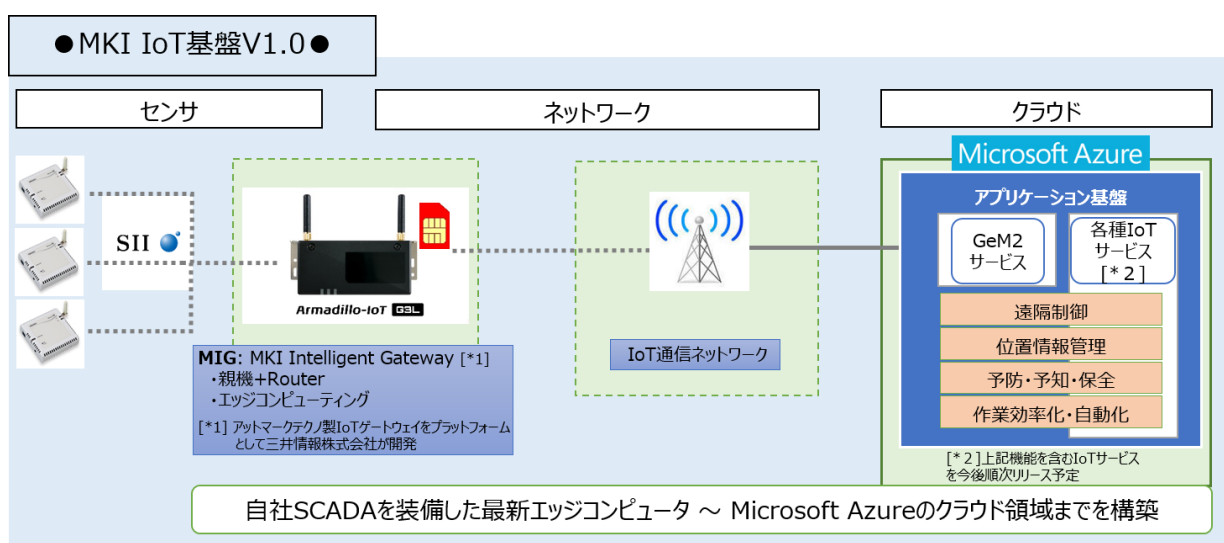
三井情報株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小日山 功、以下 MKI)は、ルーターやエッジコンピューティング(AI制御)等の機能をワンボックス化した、「MKI Intelligent Gateway」を含む「MKI IoT基盤」を8月より提供開始します。また、それに伴い、MKIが提供するクラウド型省エネルギーマネジメントサービス「GeM2」を「MKI IoT基盤」に移行することを発表します。MKIは「MKI IoT基盤」に移行した「GeM2」(約540拠点導入済)について、大型ショッピングセンターやスポーツジムなどをターゲットに、今年度100拠点の新規導入を目指します。

「GeM2」は、対象設備の空調を自動的に見える化・制御し、快適な環境を保つ省エネルギーマネジメントサービスです。これまで提供されていた「GeM2」のサービス基盤では、導入拠点及びセンサー側の機能はルーター、エッジコンピューティング(AI制御)、センサー親機と3つのハードウェアに分かれていました。

MKIはこの度、導入及び運用側の利便性・効率性向上を目指し、これらの機能を一つにまとめ、「MKI Intelligent Gateway」としてハードウェアをワンボックス化しました。これにより、サービス導入までの期間短縮と、製品故障率の低減が可能となります。また、「MKI Intelligent Gateway」を通して収集した各種データについては、分析を行いAIの精度を益々向上させていきます。

この「MKI Intelligent Gateway」に加え、ネットワークはIoT通信ネットワーク、クラウドはマイクロソフトの Microsoft Azure を活用した、「MKI IoT基盤」を新たに提供開始します。そして本基盤上で提供する最初のIoTサービスとして、「GeM2」を「MKI IoT基盤」に移行します。「MKI IoT基盤」では、Microsoft Azure を使用しているため、容易にスケール増減ができ、スモールスタートからの順次拡張も可能です。また、「MKI Intelligent Gateway」は、汎用的なセンサーに対応しており、「MKI IoT基盤」上で様々なIoTサービスを展開することができます。MKIは今後、「MKI IoT基盤」上で新たなIoTサービスを展開していく他、既に提供している他のサービスも順次移行していく予定です。

■MKI IoT基盤全体図



【報道関係者からのお問い合わせ先】
三井情報株式会社
経営企画部 広報グループ
TEL : 03-6376-1008 E-mail : press@ml.mki.co.jp

【本製品サービスに関するお問い合わせ先】
三井情報株式会社
デジタルトランスフォーメーションセンター IoT 技術部
E-mail : sales@ml.mki.co.jp

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社 (MKI) は、コンサルティングからシステム開発、基盤構築や運用・保守など IT に関わる多様なサービスを半世紀にわたりお客様に提供してきました。合併 10 周年を迎えた 2017 年 4 月には新たに“デジタルトランスフォーメーションセンター”を設置し、お客様のビジネス創造を実現する新しい IT サービスを展開しています。MKI は常に市場やお客様のニーズを捉え、蓄積された技術と知＝KNOWLEDGE を駆使することで、新たなビジネスの創出と顧客への価値提供に絶え間なく挑戦し続けていきます。

ホームページ: <http://www.mki.co.jp/>

※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

三井情報株式会社

経営企画部 広報グループ

TEL : 03-6376-1008 E-mail : press@ml.mki.co.jp

【本製品サービスに関するお問い合わせ先】

三井情報株式会社

デジタルトランスフォーメーションセンター IoT 技術部

E-mail : sales@ml.mki.co.jp